

輪島市監査公表第 45 号

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により執行した監査の結果について、同条第 9 項の規定に基づき、次のとおり公表します。

平成 27 年 12 月 15 日

輪島市監査委員 高野 哲男



輪島市監査委員 小山 栄



定期監査結果報告

1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく監査

2 監査実施日及び監査対象施設

平成27年12月2日（水） 輪島市立浦上公民館

3 監査を実施した監査委員

輪島市監査委員 高野 哲男

輪島市監査委員 小山 栄

4 監査の範囲及び方法

平成26年度の補助金に係る出納及び関連する事務の執行状況について審査するとともに、関係職員から提出資料に基づく説明の聴取を行う等の方法により、浦上公民館において実施監査した。

なお、これらを監査するため事前に所管課から補助金交付に係る一件書類及び決裁文書の提出を求め確認を行っている。

- ・コミュニティ活動推進事業補助金
- ・浦上公民館体験合宿事業補助金
- ・地域づくりリーダー養成事業補助金

(所管課：生涯学習課)

5 監査の結果等

監査した補助金に係る事務の執行については、おおむね適正に処理されていると認められた。監査対象施設に対しては、執行時に次のとおり意見を述べさせていただいたことを申し添える。

○現場の実態の意見から、少子化により地域にあった学校が無くなり「校下(校区)」・「PTA」活動が成立しなくなり、変わって「公民館」の存在が地域の核になっていることが確認できた。さらに市役所の出先機関的役目も果たしていることが認識できた。そのことから公民館は学習拠点というだけでなく、憩いと交流や行政情報伝達の間として重要な役割を果たしていることが伺えた。今後も、地域住民の要望に応えた活動や子ども教室の充実、高齢者の健康維持を目指した事業を推進されることを期待したい。

○職員の配置が、非常勤館長と嘱託主事(月18日勤務)の2名体制となっている。職員間で調整しながら様々な活動に取り組んでいるが弾力性を欠いている面もあり、勤務体制については、過度な負担とならないような組織体制の配慮が必要と思慮される。

○公金や運営費などの現金の取扱いに関しては、適切な保管・管理に務めるようにし、預金通帳等の管理についても遺漏の無いよう心掛けて頂きたい。また、職員が立替え払をすることが無いよう補助金申請日に留意し事業開始前に補助金交付がなされるよう事務処理の執行に配慮されたい。

なお、口頭で指示した軽微な事項については記述を省略する。